２０１８年　11 月

～第 74 号～

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

イタイイタイ病資料館では、最新情報や出来事、事業の紹介など資料館情報をお伝えしております。

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

『四大公害病の語り部講話を聴く集い～語り部による伝承会～』を開催しました。

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

10 月 6 日（土）、四大公害病の語り部がイタイイタイ病資料館に集まり、公害被害と教訓を後世に語り継ぐ『四大公害病の語り部講話を聴く集い～語り部による伝承会～』を開催しました。

台風の影響で季節外れの暑さの中、県内外から約 80 名の方々が参加されました。中には県外の大学生・県内の短期大学生一行といった若い参加者の姿もありました。

～飯田館長あいさつ～

前半の語り部講話では、水俣市立水俣病資料館の吉永理巳子さん、新潟県立環境と人間のふれあい館の小町ゆみ子さん、四日市公害と環境未来館の伊藤幹郎さん、そしてイタイイタイ病資料館の青島明生さんにご自身の貴重な体験について語っていただきました。実体験を踏まえながら語られる公害病の恐ろしさや悲惨さに、真剣に耳を傾け、時折涙する参加者も見られました。

後半の意見交換会では、講話いただいた４人の語り部とイタイイタイ病対策協議会の髙木勲寛会長、当資料館の飯田館長が「公害病の事実を広く伝えて行くには」と題して意見交換を行いました。

～意見交換会～

まず 4 人の語り部の方々に、特に小・中・高校生といった公害を知らない若い世代の方々に公害病の事実をいかにしてわかりやすく、さらに広く語り継いでいくために、普段から実施されている方策について、具体的な事例も交えながらお話いただきました。

また、各資料館からの同行職員の方々からは各資料館としての取り組みについてご説明いただきました。

その後は、会場の参加者や、語り部としても活動している当資料館の鏡森名誉館長を交え、本人が話すことの大切さや、次世代への語り手の育成などについてもさらに話し合いが行われました。

意見交換会の最後には、髙木会長より総評をいただき、今後の各資料館の果たすべき役割やその魂である語り部に期待することについてご意見を賜りました。

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

機関誌『資料館だより 2018 年　秋号』を発行しました

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

このたび、資料館での出来事や活動状況、各種のお知らせ情報をお伝えする「資料館だより 2018 年　秋号」を発行しました。

今回の秋号では、平成 30 年 4 月に新館長に就任した飯田館長のあいさつをはじめ、それ以降の資料館の動きや、今後のお知らせなどを紹介しています。

この資料館だよりは、年 2 回(春・秋)発行しており、公立図書館等でご覧いただけるほか、資料館のホームページからもご覧いただけます。

「資料館ホームページ」

(URL：http://www.pref.toyama.jp/branches/1291/)